

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：中部整備局都市整備課
 担当課長名：筒井 祐治

| | | | | | |
|-----|---|------|-------|------|--------|
| 事業名 | 3・3・6 <small>なごやはんだせん なわなんごこうく</small> 名古屋半田線（名和南部工区） | 事業区分 | 街路 | 事業主体 | 愛知県東海市 |
| 起終点 | 自：愛知県東海市名和町日向根 至：愛知県東海市荒尾町北遠鐘 | 延長 | 0.5km | | |

事業概要
 主要地方道名古屋半田線は、名古屋市から東海市・東浦町・阿久比町を通り半田市に至る総延長約22.6kmの主要幹線道路である。名古屋半田線バイパスは、知多半島道路・西知多産業道路と共に知多半島南北の骨格を形成する延長22.6kmの4車線道路である。

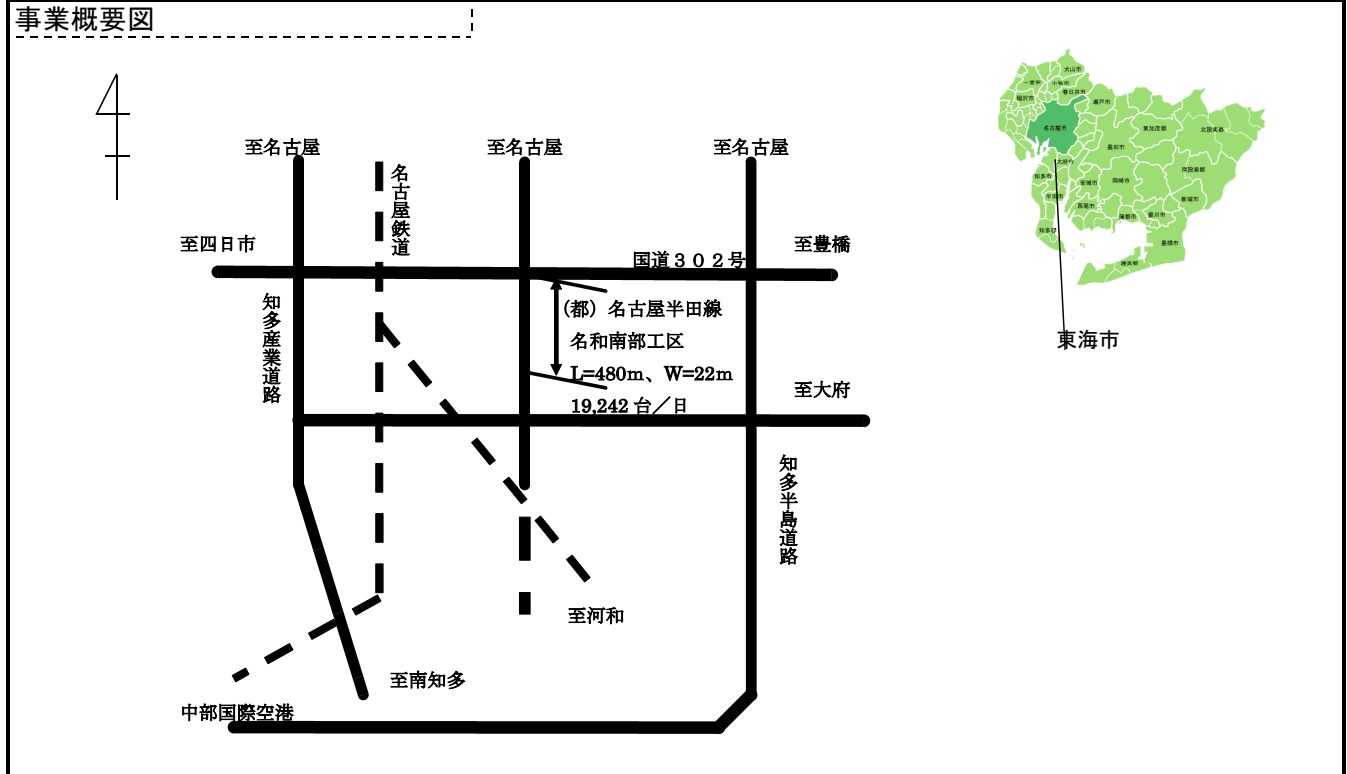
事業の目的、必要性
 名古屋半田線バイパスは、現道の主要地方道名古屋半田線の市街地における交通混雑緩和を図ると共に、騒音や大気汚染等の沿道環境の改善、及び中部国際空港開港に伴い増加する旅客及び物流ルートの補完道路として大きく寄与するものである。

| | | | | | |
|----------|------------|---|--|-----------|-------|
| 全体事業費 | 17億円 | | 計画交通量 | 19,242台/日 | |
| 費用便益分析結果 | B/C 4.1 | 総費用 13億円 （事業費：12億円 維持管理費：0.32億円） | 総便益 53億円 （走行時間短縮便益：54億円 走行費用減少便益：-0.31億円 交通事故減少便益：-0.61億円） | 基準年 | 平成15年 |

事業の効果等

- ・物流効率化の支援（大型車両が通行できない区間を解消する）
- ・都市圏の交通円滑化の推進（現道の混雑時旅行速度20km/h未満が改善される）
- ・災害への備え（緊急輸送道路として位置づけられている）

関係する地方公共団体等の意見
 名古屋半田線バイパスは、地域交流の促進、交通緩和に重要な役割を果たすことが期待されており、阿久比町をはじめとする関係2市2町の首長で構成される名古屋半田線整備促進期成同盟会で早期整備の要望を受けています（H15.10.27）



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。